



サイエンスカフェ

cience Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

第72回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2024年 1月19日(金)
18:00 ~ 19:30

●場所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4
オンラインも開催します。

●テーマ：「ロボットの目は人間と同じ？」

●ゲスト：川原 僚 氏
(大学院情報工学研究院
知能情報工学研究系 助教)

●申込み：必要 (定員 対面20名 100名程度)

参加費用 **無料**

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

Web：https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

かわ はら りょう

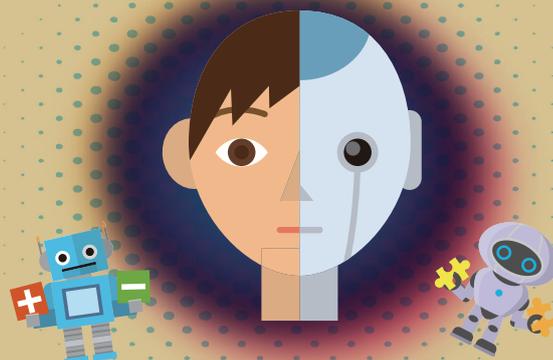
川原 僚 氏

大学院情報工学研究院
知能情報工学研究系
助教

ロボットやコンピュータにとっての視覚はカメラによって与えられます。では、カメラは人間の目とそっくりな2つ作り、同じように配置する必要はあるのでしょうか？

さらに、人間には見えない赤外線や、昆虫が捉えているといわれる偏光を見るカメラも存在します。これらを利用すると何ができるのでしょうか？

今回は、ロボットの目の設計によって、人間では今までうまく捉えられなかった世界を見る技術についてお話しします。



国立大学法人

九州工業大学

情報工学部

